



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2020年 6月 18日～2020年 11月 10日にご同意いただいた方で
新型コロナウイルス感染症（COVID 19）と診断された方

【研究課題名】

新型コロナウイルス感染症（COVID 19）感染初期における中和活性と抗体保有 の関連についての観察研究

【研究責任者】

山中竹春（横浜市立大学 医学部）

【本研究の目的及び意義】

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染急性期（発症後30日以内）におけるSARS-CoV-2に対する中和活性値およびNP抗体価の相関関係の評価を主目的として実施する。また、副次目的として、中和活性値とSP 抗体価（定量）との相関等を検討する。

【本研究に提供している試料・情報】

血液

性別、年齢、診断名

【研究期間】

2020年 12月 15日～2022年 3月 31日

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターバイオバンク

所属 メディカルゲノムセンターバイオリソース部

電話番号 042-346-3520

e-mail : biobank※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)